

## 7. B T C からのお知らせ

### 2005 年度軽種馬育成調教場の運営・管理

軽種馬育成調教場を利用される皆様が円滑に育成馬の調教を行えるように適正かつ効率的な運営・管理を目指しております。

開場以来の年間利用頭数が年々増加していますが、本年は前年比 111.7%、1 日の最高利用は 3 月 21 日の 678 頭を記録しました。

歩いて当施設を利用できる近隣育成牧場の馬房数が年々増加（619 馬房：前年比 104%）していることも利用頭数増加の大きな一因となっています。

本年度は、夏期の気温上昇と降水量不足により芝馬場の一部に芝枯れが見られたものの、走路には特に影響はなく、全般的に良好な状態で保つことができました。

直線 1600m 砂馬場は、冬期凍上の影響を受け路盤が隆走したため、路盤改修をおこなったために開場が例年より 2 週間ほど遅くなりました。

本年度は、利用馬の暑さ対策と混雑緩和のために、7 月・8 月に調教時間を 1 時間繰り上げる「サマータイム」を実施し好評でした。

これまで終日クローズ等で実施していた集中馬場整備を、本年度から職員の勤務体制を組み直し休場日の日曜日に実施し、調教場利用に支障のないようにいたしました。

また、調教場のより一層の安全を確保するため以下の工事を実施するとともに、利用者の皆様と連携を図り事故防止に努めました。

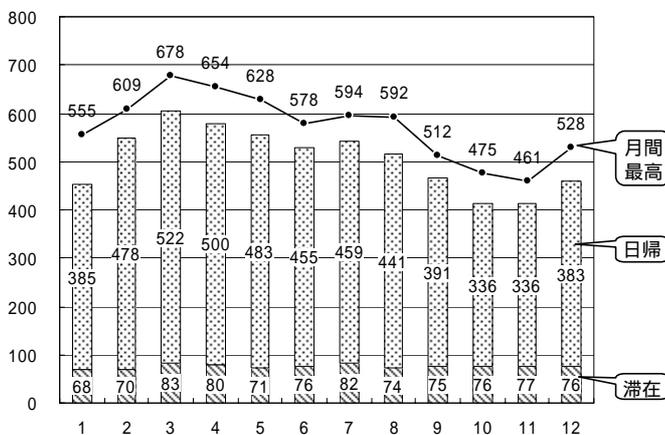
屋内直線馬場南出入口の馬道の拡幅

南厩舎地区の死角となっていた 6 箇所カーブミラーの設置

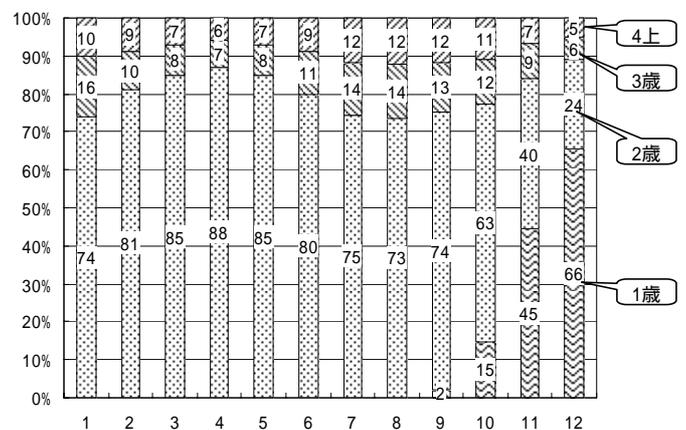
屋内トラック馬場出口には馬の出ることが外から確認できるパトライトの設置

馬運車の混雑緩和のための南馬積降場を 3 台分増設

### 2005 年度利用状況

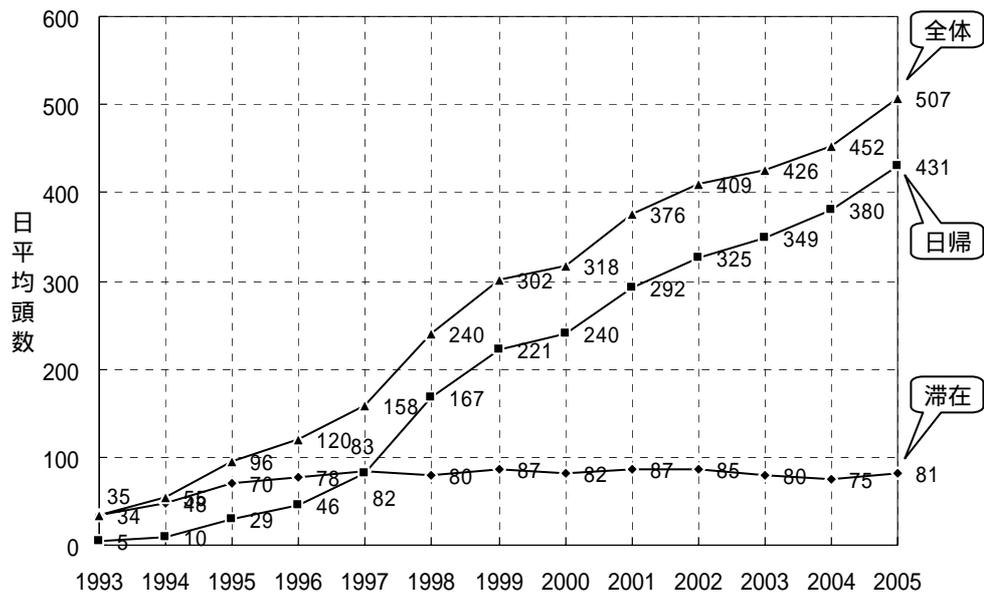


月別 1 日当たり平均調教頭数及び最高頭数



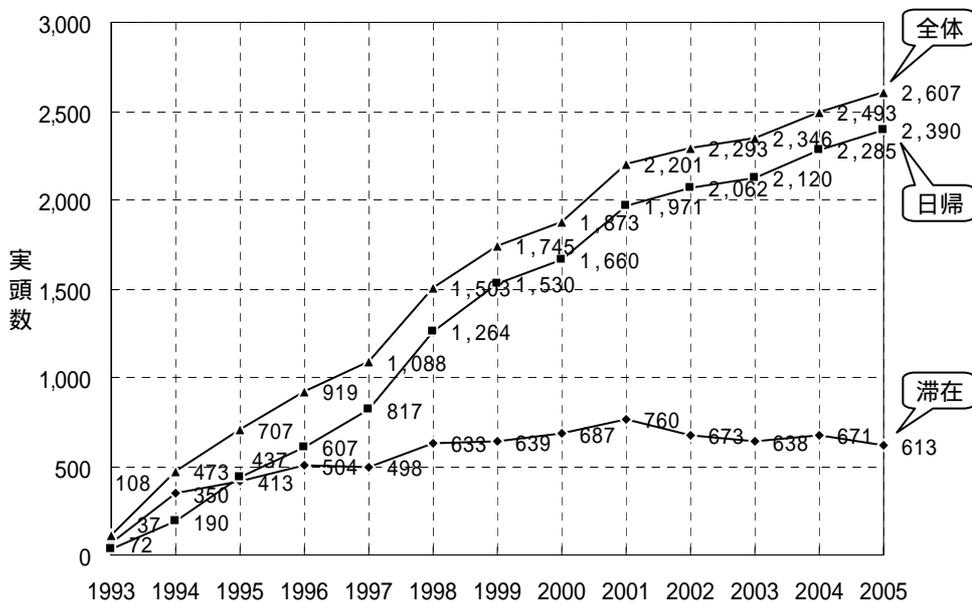
月別年齢比率

## 年度別利用状況



### 1日当たりの利用頭数の推移

注：全体の調教頭数は、滞在馬の非調教馬（休み）を除いて加算してるため、滞在 + 日帰 = 全体とはならない。



### 年間実頭数の推移

注：同一馬が滞在、日帰り両形態に属する場合があるため 滞在 + 日帰 = 全体とはならない。